

介護保険料の低所得者単独減免実施市町村一覧

(厚労省3原則比較表)

(2006年10月1日)

今回新たに実施した市町村はなかった。
 制度を廃止したのは名古屋市、新城市、旧師勝町の3市町。
 減免実施市町村数は、昨年の37から30に減り、実施市町村の割合は、54.4%から47.6%に減少した。
 一宮市の減免制度は、合併を機に申請が必要となっていたが煩雑な作業が必要になったために、申請不要に戻った。
 「3原則項目」欄の印は、介護保険利用者の立場に立って、3原則を超えて実施している市町村。
 2005年度の減免実績は、19,498件、1億834万円。
 2005年度実績の「件数」欄を人数で回答している市町村もある。

保険料単独減免に対して、厚労省が禁止を指導する3原則

保険料の全額免除
 資産状況等を把握せず収入のみに着目した一律の減免
 保険料減免分に対する一般財源の繰入れ

減免実施市町村数		30	3原則項目			申請不要	2005年度実績	
市町村名	減免対象となる所得段階区分等	資産制限なし	全額免除	一般会計	件数		金額	
3	岡崎市	第1-3段階(収入による制限あり)	×	×	×	×	209	2,336,600
4	一宮市	第1・3段階(収入による制限あり)		×	×		16,744	83,459,400
5	瀬戸市	第3段階(生活保護基準以下)	×	×	×	×	11	54,600
6	半田市	第1-3段階(収入による制限あり)	×	×	×	×	7	57,080
8	豊川市	第3段階(収入による制限あり)	×	×	×	×	56	432,396
9	津島市	第1段階	×	×	×	×	5	3,200
10	碧南市	要保護者、生活困窮者(収入による制限あり)	×	×	×	×	31	542,920
12	豊田市	生活保護基準以下など	×	×	×	×	9	165,044
14	西尾市	第1-3段階(収入による制限あり)	×	×	×	×	8	13,440
15	蒲郡市	第3段階(収入による制限あり)	×	×	×	×	169	1,332,816
16	犬山市	第2段階	×	×	×	×	0	0
18	江南市	第3段階(収入による制限あり)	×	×	×	×	18	158,400
19	小牧市	第3段階(収入による制限あり)		×	×	×	33	249,800
20	稲沢市	第1段階(生保は除く)	×	×	×	×	12	94,800
-	知多北部広域	第1-3段階(収入による制限あり)	×	×	×	×	83	659,470
25	知立市	第1段階		×	×	×	3	33,100
28	岩倉市	老齢福祉年金受給者(収入による制限あり)	×	×	×	×	3	26,100
30	日進市	第1段階		×	×	×	3	40,320
31	田原市	第3段階(収入による制限あり)	×	×	×	×	43	342,900
39	春日町	第1・2段階(生活保護基準以下)		×	×	×	0	0
41	扶桑町	第1-3段階(生活保護基準以下)		×	×	×	4	65,200
46	蟹江町	第1・2段階(収入による制限あり)	×	×	×	×	0	0
52	武豊町	第1・2段階(収入による制限あり)		×	×	×	12	153,000
56	幸田町	第1-3段階(収入による制限あり)		×	×	×	92	929,600
61	音羽町	第2段階(収入による制限あり)	×	×	×	×	0	0
62	小坂井町	第2段階(収入による制限あり)	×	×	×	×	36	286,836
63	御津町	第2段階(収入による制限あり)	×	×	×	×	19	140,220

制度を廃止した市町村の2005年度実績は次の通り

名古屋市:1880件、1678万円

新城市:0件

旧師勝町:7件、6万円